

決算等審査 特別委員会

委員長 赤間 次彦
副委員長 山口 津世子

本委員会は、議会議長の監査委員を除く全議員五十八名で構成され、委員は所属会派の議員数に応じた持ち時間内で、各会計・款ごとに質疑を行います。審査は九月十六日から十一日間開催され、延べ七十五人の委員が三十六時間にわたり審査を行いました。主な質疑と答弁の要旨等を会派ごとに掲載します。

みらい仙台

問 鈴木 勇治 委員
児童虐待防止に向け児童相談所と区の連携や事業の充実、体制の強化を図るべき。

答 児童相談所と区が連携して支援体制を作り、人員を確保して虐待防止に取り組み。育児支援家庭訪問事業、小児慢性特定疾患通院介護料の広報、下水道事業の健全経営策、庄司 俊充 委員
泉警察署前の交差点の渋滞を解消すべき。

問 泉中央駅方面から県道成十七年度内に設置したい。

問 いずみ墓園への市営バス乗り入れをすべき。

答 来年度に向けて、お盆お彼岸の運行を検討している。公共交通の公営の維持。

問 渡辺 芳雄 委員
仙台ハーフマラソン大会をフルマラソン大会へ昇格させてはどうか。

答 現状では市内でのコース設定、交通規制など様々な問題があり難しいが、長期的な展望としてフルマラソンも視野に入れて進めていきたい。地域づくり活動の推進のため、「区民会議」の設置を。

問 関根 千賀子 委員
増加し続ける生活保護費の適正受給について、これからのあり方を伺う。

答 就労可能な世帯につき、自立を積極的に支援する。また、一定の期間を設けて再審査する制度の導入を政令指定都市として国に提言している。市街地の緑の回廊づくり、青葉山公園整備推進。

問 郷湖 健一 委員
松森工場の完成と稼働へ向けた所見を伺う。

答 こみ処理体制確保やイオキシンの大幅な削減により環境を維持するため不可欠の事業であり、併設の市民利用施設とともに環境に配慮した施設として管理運営する。松森工場周辺道路の整備、灰溶融設備の安全対策。

問 齋藤 範夫 委員
旭川の旭山動物園の成功を踏まえ、八木山動物公園の活性化策を検討すべきではないか。

答 施設配置とあわせて、展示方法も見直し、市民に親しまれる動物公園にしていく。外郭団体を含めた連結パランスシートの作成による財政分析を。

問 佐藤 正昭 委員
東西線開通に合わせ市民に夢と感動を与える新設

問 物公園の整備計画を作るべき。

答 環境問題など新たな視点を加え、全庁的に協議し、リハビリプランを策定する。動物の名称等の表示に親しみやすい工夫をすべき。

問 市内の社会教育施設との有機的な連携により増資策を講じたい。

答 橋本 啓一 委員
住宅用火災警報器の設置の義務化に当たり、市はどのように取り組むのか伺う。

答 ポスター等によるわかりやすい広報や、消防防災関係団体との連携を図っていく。警報器設置の負担軽減策、高齢者等の災害弱者への健康福祉施設と連携した対応と支援について。

問 熊谷 善夫 委員
子どもたちへの団体行動教育と福祉教育の充実を求めるが、現状について伺う。

答 機会をとらえて集団行動のルール等を身につけるよう指導し、高齢者、障害者との交流活動等に努めている。スクールネットサンス事業の現状と今後の方針は、学校警備員の全校常駐を。

問 柳橋 邦彦 委員
仙台を本拠地とするフットボールの実現についてどう考えるか。

答 東北全体が待望する新球団が来春、仙台に実現するよう最大限努力する。準備のため市内にプロジェクトチームを作り、交通処理や経済効果等を検討する。

問 職員モチベーション向上



八木山動物公園(太白区)

公明党

問 会計・款別の主な質疑項目
公営企業会計

問 バス事業の「経営改善計画」は、進捗率の高さに応じて計画を見直すべき。

答 必要に応じて計画の見直しについて検討する。

問 患者本位の医療を進めるため、主治医以外の専門医に助言を求める「セカンドオピニオン」を取り入れるべき。

答 他都市の先行例も参考にしながら今後検討していく。JR仙台駅西口中央地下歩道の内照広告の営業努力市民費。

問 市民会館等に指定管理者制度を導入することによる経費節減効果を問う。

答 予測は困難だが、なお経費の節減に努めたい。健康福祉費。

問 青年指導センターの

問 街頭指導を、土・日曜日にも実施すべき。

答 街頭指導する方との協議も含め早急に検討していく。

問 動物介在活動や防犯パトロールなどを行うペットの飼い主などに対し、支援策を図れないか。

答 ボランティア活動を行う方々の意見を伺い検討する。環境費。

問 地球温暖化防止に貢献する「ごみ減量策」について本市のさらなる努力を。

答 ごみ減量の推移等を参考に、様々な手法を検討する。教育費。

問 子ども達には、インターネットの有害情報などに関する教育を行っているのか。

答 道徳的な面からの指導に力を入れている。

問 海外の観光客誘致には、仙台市に限らず周辺の市町村の観光資源も活用したい。観光行政を行うべきではないか。

答 広域観光を図り新たな観光ルート開発などを進めていく。

問 場所の増設について

問 大地震の人的被害を最小限に抑えるため、危険なブロック塀の除却を急げ。

答 所有者への文書での啓発に加え、個別指導も行う。

問 今後の都市計画道路は、歩行者の安心できる、ゆとりある歩道整備に努めよ。

答 人を中心とした道路のあり方を検討していく。



ワケルモバイル(ごみ減量や環境に配慮した行事に貸し出す食器洗浄車)

日本共産党

問 ふるくぼ 和子 委員
ごみ減量等の費用を減らさず、国や企業の責任を求め、市民協働の取り組みを。

答 循環型社会構築のため国に諸制度の変革等を求めていくとともに、今後は紙・生ごみのリサイクルを重点に、事業者や市民への広報・啓発活動等に効果的に取り組む。ダイオキシンの類焼監視装置の国内設置例に学び、新松森工場への設置を。

問 嵯峨 サダ子 委員
自閉症等の相談件数の増加に対応するため、発達相談支援センターの人員を増やし、市南部へも早急に増設を。

答 本年度、七名の増員を

問 長町副都心土地区画整理事業について

問 正木 満之 委員
整理事業の財政負担に開く県との協議では、市の負担を増加させない方針を貫くべき。

答 本事業は、事業主体の県の責任で行うのが原則。本市は、パートナーとして協力

問 物公園の整備計画を作るべき。

答 環境問題など新たな視点を加え、全庁的に協議し、リハビリプランを策定する。動物の名称等の表示に親しみやすい工夫をすべき。

問 市内の社会教育施設との有機的な連携により増資策を講じたい。

答 橋本 啓一 委員
住宅用火災警報器の設置の義務化に当たり、市はどのように取り組むのか伺う。

答 ポスター等によるわかりやすい広報や、消防防災関係団体との連携を図っていく。警報器設置の負担軽減策、高齢者等の災害弱者への健康福祉施設と連携した対応と支援について。

問 熊谷 善夫 委員
子どもたちへの団体行動教育と福祉教育の充実を求めるが、現状について伺う。

答 機会をとらえて集団行動のルール等を身につけるよう指導し、高齢者、障害者との交流活動等に努めている。スクールネットサンス事業の現状と今後の方針は、学校警備員の全校常駐を。

問 柳橋 邦彦 委員
仙台を本拠地とするフットボールの実現についてどう考えるか。

答 東北全体が待望する新球団が来春、仙台に実現するよう最大限努力する。準備のため市内にプロジェクトチームを作り、交通処理や経済効果等を検討する。

問 職員モチベーション向上



発達相談支援センター「アーチル」(泉区)

フォーラム仙台

木村 勝好 委員

問 駅前広場の整備基準の明確化、バス結接の効率化交流拠点機能の付加等に配慮して整備すべきでは。

答 多面的な機能を持つ施設であることを踏まえ、地域の個性を発揮できる特色のある駅前広場の整備を進める。東北からの観光客に対する仙台の魅力向上に重点を、新球団への対応について国益を踏まえた新たな国際交流方針の必要性について

問 日下 富士夫 委員
避難所開設訓練等、実践的な地域防災訓練実施を。学校体育館、防災資機材倉庫の鍵管理の見直しを。

問 佐藤 わか子 委員
サル被害に対し捕獲も含めた抜本的対策が必要では。県の新たな計画に基づき、効果的な対策に努める。海外からの観光客を増やす



より実践的な地域防災訓練の実施を

自由民主党

田村 稔 委員

平成15年度 一般会計歳出決算款別内訳

災害復旧費	46
公債費	77,046
請支出金	9,678
議会費	1,639
総務費	28,225
市民費	13,646
健康福祉費	94,349
土木費	92,285
環境費	24,284
経済費	25,472
教育費	50,494
消防費	12,372

単位：百万円

問 金剛山歌劇団仙台公演に対する本市の意義後援は、より慎重に進めるべきではないか。

答 芸術文化は国際交流等の中で重要であり、市としても何らかの国際親善の役割を担ってほしい。また、国民感情等を勘案した慎重な対応も大事だと考えている。

問 文化振興策への取り組み

問 野田 謙 委員
榴岡公園の緊急一時宿泊施設が完成してもブルーシートを張ったまま入居しないホームレスがいる場合、本市は強制的に排除するのか。

答 入居を働きかけていくことが第一だが、公園管理の適正化という観点から強い態度で臨むことも視野に入れなければならない。



エル・ソーラ仙台 図書資料ラウンジ(青葉区)

社民党

障害者のグループホームの見直し改善を。

問 グループホームは重度障害者に対応できるよう見直しを。小規模作業所は増設が課題で、現時点では補助の引き上げは困難。

問 公園の除草、樹木の剪定を定期的に行うべき。

答 除草、生垣の剪定は年一回、五月、十月の時期に、樹木の剪定は生育状況や周辺への影響を考慮しながら四、五年に一回行っている。

問 高速バスの路上待機による交通渋滞の解消策を。

答 バスの待機スペース確保のため交通局の新寺駐車場

問 障害者のグループホームの見直し改善を。

答 グループホームは重度障害者に対応できるよう見直しを。小規模作業所は増設が課題で、現時点では補助の引き上げは困難。

問 公園の除草、樹木の剪定を定期的に行うべき。

答 除草、生垣の剪定は年一回、五月、十月の時期に、樹木の剪定は生育状況や周辺への影響を考慮しながら四、五年に一回行っている。

問 高速バスの路上待機による交通渋滞の解消策を。

答 バスの待機スペース確保のため交通局の新寺駐車場



渋滞解消の効果が期待されるJR仙台駅東口バスプール

仙台・グローバル

岡部 恒司 委員

問 職員の意識を高めるため、本庁と区役所の人事ローテーションの活性化をすべき。

答 エイズ対策の長期的なビジョンと正しい知識の重要性について

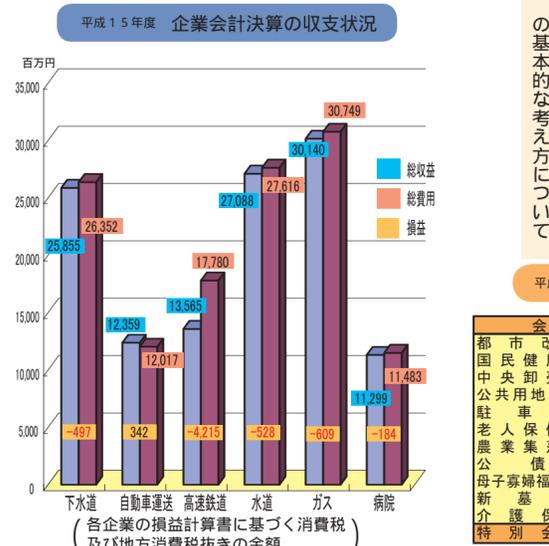
問 消防団の充足率向上のため定年の年齢引き上げを。消防署分署・出張所の役割と重要性について

問 加藤 栄一 委員
フィンランド健康福祉センタープロジェクトをさらに展開するための市長の決意を伺う。

答 この事業を仙台に根付かせて、ここから世界に向けて発信し、さらに海外からの投資を呼び込む、21世紀の仙台の地域産業を主体的なものにするための成長エンジンとなるよう対処していきたい。



(仮称)フィンランド健康福祉センター完成図(青葉区水の森に平成17年3月開設予定)



平成15年度 特別会計決算の収支状況 単位：千円

会計名	歳入	歳出	差引額
都市改造事業	11,876,708	11,298,558	578,150
国民健康保険事業	65,285,742	65,231,065	54,677
中央卸売市場事業	3,566,988	3,565,816	1,172
公共用地先行取得事業	12,189,140	12,189,140	0
駐車場事業	530,459	530,459	0
老人保健医療事業	65,625,241	65,523,257	101,984
人業保健医療事業	687,825	647,020	40,805
人業保健医療事業	101,590,098	101,590,098	0
母子寡婦福祉金貸付事業	221,048	125,797	95,251
新墓園事業	732,894	732,894	0
介護保険事業	32,960,759	32,796,759	164,000
特別会計合計	295,266,902	294,230,863	1,036,039



問 ため、重点地域を決め常設の情報発信基地を作るべき。指導能力の高い外国人英語教師の採用を検討すべき。

問 安孫子 雅浩 委員
緑の保全管理は市民との協働が一層必要。誘導策を。公園愛護協力会や事業者の新たな動きも大切に、市民協働で緑の管理に努める。

問 生活保護の医療扶助には医師の同意が不要の施設があり、担当者に周知と指導を。

問 情報提供は被保護者の選択の幅を広げるため有効であり、相談に応じて行う。雨水排水の集中豪雨対策。剪定車をチップ化し活用を。

問 岡本 あき子 委員
学校のプラスチック製容器包装が分別義務対象外なのは環境教育上疑問だ。全庁的に取

問 自閉症児への対応について

問 野田 幸代 委員
エル・ソーラの保育士向け講座は、趣旨に「性別にとらわれず」とあるが、どのような内容なのか。自分の性に誇りを持つ保育を願う。

問 グループに分かれ、保育所で使う絵本を読みながら登場人物の特徴などを互いに語り合うなど進めた。

問 家賃が高いエル・ソーラ仙台のフロアの活用について

問 大内 久雄 委員
狐小路尼寺線の整備について、仙台一高用地に

問 業の効果と今後の事業展開都市計画道路の整備促進。歩道上の植栽は交通安全に配慮したものにすべき。一級・二級河川及び準用河川の改修とその財源確保を。地域防災訓練の充実と機材を含む予算の確保を。地域住民の理解の下に東部地区治水計画の策定を。障害のある児童生徒に対する教育の特別支援教育への転換に向けた体制の確立を。学校給食における十分な食事時間の確保と食物アレルギー対策のさらなる強化を。学校の地域連携を常に意識した取り組みを。塾に頼らずに学力を相対的に評価できるシステムを。部活動のあり方と子どもゆとりある生活について

問 十七年度の市税収入見込み・補助金等に関する国の動向・地元企業育成の対応

問 現在の人事評価制度の課題と新制度の検討状況。導入時期及び運用方法について

問 仙台駅東の街づくりへの市の基本的な考え方について

問 り組み、子ども達のこみ分別を早急に全校で実践すべき。

問 環境保全に資する取り組みを学ぶことは重要であり、早期に市内全校に分別収集を拡大するよう努める。

問 採算をどう確保するか

問 バス等市街の路線と福祉バス等の施策との整理を。主婦の検診受診率向上と乳がんがんと受診率引き下げ市民個人データの誤処理等を防ぐため万全の体制を。

問 横田 匡人 委員
市民の利便性向上のため、医療費のクレジットカード払い立病院の研究すべき。新市立病院の計画にあたっては、総合性のほかに救急医療分野と治療研究事業などの研究教育事業に重点を生活保護制度の改正を国に求めるべき。

問 芸術文化は国際交流等の中で重要であり、市としても何らかの国際親善の役割を担ってほしい。また、国民感情等を勘案した慎重な対応も大事だと考えている。

問 文化振興策への取り組み

問 野田 謙 委員
榴岡公園の緊急一時宿泊施設が完成してもブルーシートを張ったまま入居しないホームレスがいる場合、本市は強制的に排除するのか。

答 入居を働きかけていくことが第一だが、公園管理の適正化という観点から強い態度で臨むことも視野に入れなければならない。

問 芸術文化は国際交流等の中で重要であり、市としても何らかの国際親善の役割を担ってほしい。また、国民感情等を勘案した慎重な対応も大事だと考えている。

問 文化振興策への取り組み

問 野田 謙 委員
榴岡公園の緊急一時宿泊施設が完成してもブルーシートを張ったまま入居しないホームレスがいる場合、本市は強制的に排除するのか。

答 入居を働きかけていくことが第一だが、公園管理の適正化という観点から強い態度で臨むことも視野に入れなければならない。

問 芸術文化は国際交流等の中で重要であり、市としても何らかの国際親善の役割を担ってほしい。また、国民感情等を勘案した慎重な対応も大事だと考えている。

問 文化振興策への取り組み

問 野田 謙 委員
榴岡公園の緊急一時宿泊施設が完成してもブルーシートを張ったまま入居しないホームレスがいる場合、本市は強制的に排除するのか。

答 入居を働きかけていくことが第一だが、公園管理の適正化という観点から強い態度で臨むことも視野に入れなければならない。

問 芸術文化は国際交流等の中で重要であり、市としても何らかの国際親善の役割を担ってほしい。また、国民感情等を勘案した慎重な対応も大事だと考えている。

問 文化振興策への取り組み

問 野田 謙 委員
榴岡公園の緊急一時宿泊施設が完成してもブルーシートを張ったまま入居しないホームレスがいる場合、本市は強制的に排除するのか。

答 入居を働きかけていくことが第一だが、公園管理の適正化という観点から強い態度で臨むことも視野に入れなければならない。

問 芸術文化は国際交流等の中で重要であり、市としても何らかの国際親善の役割を担ってほしい。また、国民感情等を勘案した慎重な対応も大事だと考えている。

問 文化振興策への取り組み

問 野田 謙 委員
榴岡公園の緊急一時宿泊施設が完成してもブルーシートを張ったまま入居しないホームレスがいる場合、本市は強制的に排除するのか。

答 入居を働きかけていくことが第一だが、公園管理の適正化という観点から強い態度で臨むことも視野に入れなければならない。

問 芸術文化は国際交流等の中で重要であり、市としても何らかの国際親善の役割を担ってほしい。また、国民感情等を勘案した慎重な対応も大事だと考えている。

問 文化振興策への取り組み

問 野田 謙 委員
榴岡公園の緊急一時宿泊施設が完成してもブルーシートを張ったまま入居しないホームレスがいる場合、本市は強制的に排除するのか。

答 入居を働きかけていくことが第一だが、公園管理の適正化という観点から強い態度で臨むことも視野に入れなければならない。

問 芸術文化は国際交流等の中で重要であり、市としても何らかの国際親善の役割を担ってほしい。また、国民感情等を勘案した慎重な対応も大事だと考えている。

問 文化振興策への取り組み

問 野田 謙 委員
榴岡公園の緊急一時宿泊施設が完成してもブルーシートを張ったまま入居しないホームレスがいる場合、本市は強制的に排除するのか。

答 入居を働きかけていくことが第一だが、公園管理の適正化という観点から強い態度で臨むことも視野に入れなければならない。

問 芸術文化は国際交流等の中で重要であり、市としても何らかの国際親善の役割を担ってほしい。また、国民感情等を勘案した慎重な対応も大事だと考えている。

問 文化振興策への取り組み

問 野田 謙 委員
榴岡公園の緊急一時宿泊施設が完成してもブルーシートを張ったまま入居しないホームレスがいる場合、本市は強制的に排除するのか。

答 入居を働きかけていくことが第一だが、公園管理の適正化という観点から強い態度で臨むことも視野に入れなければならない。

問 芸術文化は国際交流等の中で重要であり、市としても何らかの国際親善の役割を担ってほしい。また、国民感情等を勘案した慎重な対応も大事だと考えている。

問 文化振興策への取り組み

問 野田 謙 委員
榴岡公園の緊急一時宿泊施設が完成してもブルーシートを張ったまま入居しないホームレスがいる場合、本市は強制的に排除するのか。

答 入居を働きかけていくことが第一だが、公園管理の適正化という観点から強い態度で臨むことも視野に入れなければならない。

問 芸術文化は国際交流等の中で重要であり、市としても何らかの国際親善の役割を担ってほしい。また、国民感情等を勘案した慎重な対応も大事だと考えている。

問 文化振興策への取り組み

問 野田 謙 委員
榴岡公園の緊急一時宿泊施設が完成してもブルーシートを張ったまま入居しないホームレスがいる場合、本市は強制的に排除するのか。

答 入居を働きかけていくことが第一だが、公園管理の適正化という観点から強い態度で臨むことも視野に入れなければならない。

問 芸術文化は国際交流等の中で重要であり、市としても何らかの国際親善の役割を担ってほしい。また、国民感情等を勘案した慎重な対応も大事だと考えている。

問 文化振興策への取り組み

問 野田 謙 委員
榴岡公園の緊急一時宿泊施設が完成してもブルーシートを張ったまま入居しないホームレスがいる場合、本市は強制的に排除するのか。

答 入居を働きかけていくことが第一だが、公園管理の適正化という観点から強い態度で臨むことも視野に入れなければならない。

問 芸術文化は国際交流等の中で重要であり、市としても何らかの国際親善の役割を担ってほしい。また、国民感情等を勘案した慎重な対応も大事だと考えている。

問 文化振興策への取り組み

問 野田 謙 委員
榴岡公園の緊急一時宿泊施設が完成してもブルーシートを張ったまま入居しないホームレスがいる場合、本市は強制的に排除するのか。

答 入居を働きかけていくことが第一だが、公園管理の適正化という観点から強い態度で臨むことも視野に入れなければならない。

問 芸術文化は国際交流等の中で重要であり、市としても何らかの国際親善の役割を担ってほしい。また、国民感情等を勘案した慎重な対応も大事だと考えている。

問 文化振興策への取り組み

問 野田 謙 委員
榴岡公園の緊急一時宿泊施設が完成してもブルーシートを張ったまま入居しないホームレスがいる場合、本市は強制的に排除するのか。

答 入居を働きかけていくことが第一だが、公園管理の適正化という観点から強い態度で臨むことも視野に入れなければならない。

問 芸術文化は国際交流等の中で重要であり、市としても何らかの国際親善の役割を担ってほしい。また、国民感情等を勘案した慎重な対応も大事だと考えている。

問 文化振興策への取り組み

問 野田 謙 委員
榴岡公園の緊急一時宿泊施設が完成してもブルーシートを張ったまま入居しないホームレスがいる場合、本市は強制的に排除するのか。

答 入居を働きかけていくことが第一だが、公園管理の適正化という観点から強い態度で臨むことも視野に入れなければならない。

問 芸術文化は国際交流等の中で重要であり、市としても何らかの国際親善の役割を担ってほしい。また、国民感情等を勘案した慎重な対応も大事だと考えている。

問 文化振興策への取り組み

問 野田 謙 委員
榴岡公園の緊急一時宿泊施設が完成してもブルーシートを張ったまま入居しないホームレスがいる場合、本市は強制的に排除するのか。

答 入居を働きかけていくことが第一だが、公園管理の適正化という観点から強い態度で臨むことも視野に入れなければならない。

問 芸術文化は国際交流等の中で重要であり、市としても何らかの国際親善の役割を担ってほしい。また、国民感情等を勘案した慎重な対応も大事だと考えている。

問 文化振興策への取り組み

問 野田 謙 委員
榴岡公園の緊急一時宿泊施設が完成してもブルーシートを張ったまま入居しないホームレスがいる場合、本市は強制的に排除するのか。

答 入居を働きかけていくことが第一だが、公園管理の適正化という観点から強い態度で臨むことも視野に入れなければならない。

問 芸術文化は国際交流等の中で重要であり、市としても何らかの国際親善の役割を担ってほしい。また、国民感情等を勘案した慎重な対応も大事だと考えている。

問 文化振興策への取り組み

問 野田 謙 委員
榴岡公園の緊急一時宿泊施設が完成してもブルーシートを張ったまま入居しないホームレスがいる場合、本市は強制的に排除するのか。

答 入居を働きかけていくことが第一だが、公園管理の適正化という観点から強い態度で臨むことも視野に入れなければならない。

問 芸術文化は国際交流等の中で重要であり、市としても何らかの国際親善の役割を担ってほしい。また、国民感情等を勘案した慎重な対応も大事だと考えている。

問 文化振興策への取り組み

問 野田 謙 委員
榴岡公園の緊急一時宿泊施設が完成してもブルーシートを張ったまま入居しないホームレスがいる場合、本市は強制的に排除するのか。

答 入居を働きかけていくことが第一だが、公園管理の適正化という観点から強い態度で臨むことも視野に入れなければならない。

問 芸術文化は国際交流等の中で重要であり、市としても何らかの国際親善の役割を担ってほしい。また、国民感情等を勘案した慎重な対応も大事だと考えている。

問 文化振興策への取り組み

問 野田 謙 委員
榴岡公園の緊急一時宿泊施設が完成してもブルーシートを張ったまま入居しないホームレスがいる場合、本市は強制的に排除するのか。

答 入居を働きかけていくことが第一だが、公園管理の適正化という観点から強い態度で臨むことも視野に入れなければならない。

問 芸術文化は国際交流等の中で重要であり、市としても何らかの国際親善の役割を担ってほしい。また、国民感情等を勘案した慎重な対応も大事だと考えている。

問 文化振興策への取り組み

問 野田 謙 委員
榴岡公園の緊急一時宿泊施設が完成してもブルーシートを張ったまま入居しないホームレスがいる場合、本市は強制的に排除するのか。

答 入居を働きかけていくことが第一だが、公園管理の適正化という観点から強い態度で臨むことも視野に入れなければならない。

問 芸術文化は国際交流等の中で重要であり、市としても何らかの国際親善の役割を担ってほしい。また、国民感情等を勘案した慎重な対応も大事だと考えている。

問 文化振興策への取り組み

問 野田 謙 委員
榴岡公園の緊急一時宿泊施設が完成してもブルーシートを張ったまま入居しないホームレスがいる場合、本市は強制的に排除するのか。

答 入居を働きかけていくことが第一だが、公園管理の適正化という観点から強い態度で臨むことも視野に入れなければならない。

問 芸術文化は国際交流等の中で重要であり、市としても何らかの国際親善の役割を担ってほしい。また、国民感情等を勘案した慎重な対応も大事だと考えている。

問 文化振興策への取り組み

問 野田 謙 委員
榴岡公園の緊急一時宿泊施設が完成してもブルーシートを張ったまま入居しないホームレスがいる場合、本市は強制的に排除するのか。

答 入居を働きかけていくことが第一だが、公園管理の適正化という観点から強い態度で臨むことも視野に入れなければならない。

問 芸術文化は国際交流等の中で重要であり、市としても何らかの国際親善の役割を担ってほしい。また、国民感情等を勘案した慎重な対応も大事だと考えている。

問 文化振興策への取り組み

問 野田 謙 委員
榴岡公園の緊急一時宿泊施設が完成してもブルーシートを張ったまま入居しないホームレスがいる場合、本市は強制的に排除するのか。

答 入居を働きかけていくことが第一だが、公園管理の適正化という観点から強い態度で臨むことも視野に入れなければならない。

問 芸術文化は国際交流等の中で重要であり、市としても何らかの国際親善の役割を担ってほしい。また、国民感情等を勘案した慎重な対応も大事だと考えている。

問 文化振興策への取り組み

問 野田 謙 委員
榴岡公園の緊急一時宿泊施設が完成してもブルーシートを張ったまま入居しないホームレスがいる場合、本市は強制的に排除するのか。

答 入居を働きかけていくことが第一だが、公園管理の適正化という観点から強い態度で臨むことも視野に入れなければならない。

問 芸術文化は国際交流等の中で重要であり、市としても何らかの国際親善の役割を担ってほしい。また、国民感情等を勘案した慎重な対応も大事だと考えている。

問 文化振興策への取り組み

問 野田 謙 委員
榴岡公園の緊急一時宿泊施設が完成してもブルーシートを張ったまま入居しないホームレスがいる場合、本市は強制的に排除するのか。

答 入居を働きかけていくことが第一だが、公園管理の適正化という観点から強い態度で臨むことも視野に入れなければならない。

問 芸術文化は国際交流等の中で重要であり、市としても何らかの国際親善の役割を担ってほしい。また、国民感情等を勘案した慎重な対応も大事だと考えている。

問 文化振興策への取り組み

問 野田 謙 委員
榴岡公園の緊急一時宿泊施設が完成してもブルーシートを張ったまま入居しないホームレスがいる場合、本市は強制的に排除するのか。

答 入居を働きかけていくことが第一だが、公園管理の適正化という観点から強い態度で臨むことも視野に入れなければならない。

問 芸術文化は国際交流等の中で重要であり、市としても何らかの国際親善の役割を担ってほしい。また、国民感情等を勘案した慎重な対応も大事だと考えている。

問 文化振興策への取り組み

問 野田 謙 委員
榴岡公園の緊急一時宿泊施設が完成してもブルーシートを張ったまま入居しないホームレスがいる場合、本市は強制的に排除するのか。

答 入居を働きかけていくことが第一だが、公園管理の適正化という観点から強い態度で臨むことも視野に入れなければならない。

問 芸術文化は国際交流等の中で重要であり、市としても何らかの国際親善の役割を担ってほしい。また、国民感情等を勘案した慎重